

「チーム担任制」導入の経緯について

チーム担任制導入の経緯について説明させていただきます。

去る令和2年2月19日に、「チーム担任制試行のご案内」に掲載させていただきましたが、本校教職員による教育活動全体の見直しを行う中で、学校の課題解決はもとより、生徒の学校生活の充実と向上、また保護者や地域のみなさまに、今まで以上に応援していただける魅力ある松茂中学校にするための改善策を検討し、実践していくことが必要であると考えました。

また、本校の学校評価アンケート結果（令和2年度分・保護者）によると「学校はいじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる」に否定的な意見は約24.4%、「先生は指導方法を工夫し、わかりやすい授業を行っている」に否定的な意見は約33.4%という結果となっており、子供の悩み解消や学力向上に向けて「どれだけ学校（教師）が関わってくれているのか」ということに大きな関心を寄せていることを再確認しました。（学校評価アンケート結果はホームページをご覧ください。）

これらのことにより、生徒の長所や持ち味を最大限に伸ばすための学校の仕組みや運営方法の見直し、さらには「例年どおり」という前例踏襲的な考えをやめて、全教職員が様々な改善に積極的に取り組んでいく意識をもって教育活動に当たらなければならないと考えました。そしてそのことが、刻々と変化していく社会の中で、子どもたちが夢を持ち、たくましく未来を生き抜く力へとつながると考えたのです。すべては子どもたちのため。めざすは「どこにも負けないくらい魅力的で、生徒も保護者も教職員もキラキラと輝ける学校」です。

これまでの固定担任制は、権限と責任が明確な仕組みである一方で、そのデメリットについては、あまり議論されないまま、現在に至っています。全国的には、同じ公立中学校で東京都の「麴町中学校」や長野県の「東部中学校」の事例がありますが、多くの中学校がチーム担任制を採用しているという状況ではありません。しかし、複数担任制（全員担任制等）を導入している上記中学校においては、学力の向上や生徒の意欲的な学習姿勢の醸成等、様々な成果が報告されています。

そこで、令和2年度に本校においても、従来の固定担任制を見直し、生徒や教職員にとって、よりよい学校作りにつなげることを目的とした「松茂中型チーム担任制」を導入し、全教職員でその実現に向けて、実施して参りました。

